

聖ヴィアートル修道会 司祭叙階式



2015年4月18日午後2時

カトリック河原町教会

司式者：京都司教 パウロ 大塚喜直司教

受階者：バティオノ・ウィリアム・セルジュ



バティオノ・ウィリアム・セルジュ

- 1974年8月7日 ブルキナファソ クドグ・ブルキエムデにて生まれる。
- 1981年9月 レオ小学校入学
- 1988年6月 同校卒業
- 1988年9月 クヅグ中高等学校入学
- 1993年6月 同校卒業
- 1993年9月 ウアガヅグ大学入学 地理学専攻
- 2000年7月 BAC（国際バカロレア試験合格）
- 2003年6月 地理教員免許状取得
- 2003年9月 聖ヴィアートル修道会に志願
- 2004年9月 聖ヴィアートル修道会にて修練
- 2005年9月 同会修練期終了 初誓願
- 2005年9月 ウアガヅグ 聖ペトロ聖パウロ大神学校入学 哲学専攻
- 2007年6月 同学校卒業 哲学教員免許状取得
- 2007年6月～ 京都で日本語を学ぶ
- 2007年9月 ブルキナファソで日本語と英語を学ぶ
- 2010年3月 南山大学別科で日本語を学ぶ
- 2011年4月 上智大学神学部入学
- 2013年6月 洛星中学校・高等学校で宗教科教育実習
- 2014年3月 上智大学神学部卒業、宗教科教員免許取得
- 2014年3月21日 北白川教会にて助祭に叙階される
- 2014年4月～ 南山大学大学院にてキリスト教人類学専攻
- 2015年4月～ 洛星中学校で宗教の授業を担当する

1. 開 祭

1) 入祭の歌

158

門よ とびらを開け

CL.
TS

♩ = 100 くらい

allargando

答唱 も んよとびら を ひらけ えい えんの 戸よ あが れ えい

答唱 も んよとびら を ひらけ えい えんの 戸よ あが れ えい

1. 2. ... Last

こう の おう が は い る こう の おう が は い る

こう の おう が は い る こう の おう が は い る

158

- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------|
| 1. 地とそこに | あるも の | 世界とそこにすむものは | 神のも の |
| 2. だれが神の山に | 登れよ う | だれが聖所に | 立てよ う |
| 3. その人は神に | 祝福さ れ | 救いの恵みを | 受け る |
| 4. 栄光の王とは | だれ か | 勝利を得られる力ある | か み |

1. 神は海に地の基を す え 水の上に 固められ た

2. それは手に汚れなく心の清い ひ と むなしいことに心向けず

3. かれはヤコブの いちぞ く 神を求め その顔を 慕 う

4. 栄光の王とは だれ か すべてを治める神 神は栄光の お う

2) 入祭のあいさつ

3) 回心の祈り

4) あわれみの賛歌

あわれみの賛歌

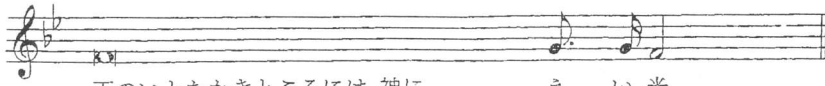
$J = 72-76$

The musical score is written on a grand staff (treble and bass clefs) in a key signature of one flat (B-flat major or D minor). The tempo is marked as $J = 72-76$. The lyrics are written below the notes, with some words placed above notes to indicate phrasing. The score consists of six lines of music.

主 - よ あわれ みたまえ 主 - よ あわれ - み -
た まえ
た ま え 主 - よ あわれ - み - た ま え キリス ト よ
あわれ みたまえ キリス ト よ あわれ み た ま え
キリス ト よ あわれ - み - た ま え 主 - よ
あわれ みたまえ 主 - よ あわれ - み - た ま え
主 - よ あわれ - み - た - ま え

5) 栄光の賛歌

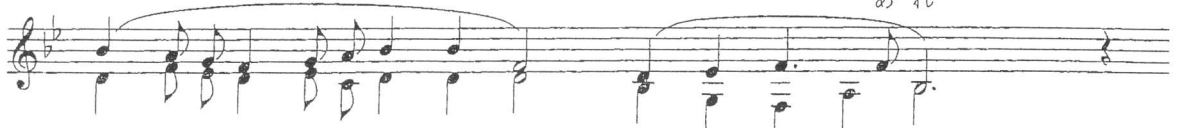
栄光の賛歌



天のいとたかきところには 神に

えい光

♩ = 92~96



地には善意のひとに

へい和 あれ



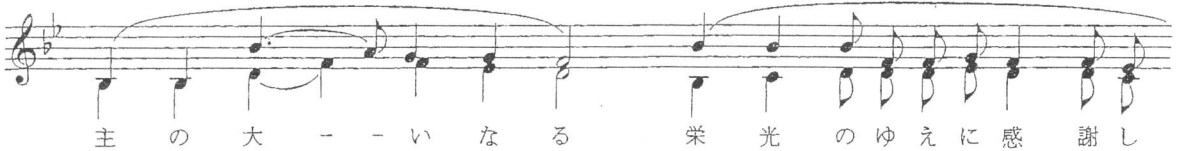
われら主をほ

主をたたえ



主をおがみ

主をあがめ



主の大いなる

栄光のゆえに感謝し



たてまつる

かみなる主 てるんの



王ぜんのかみよ

主なる御ひとり子



イエズスキリストよ

主をかみのこひつじ

ち ち の み 子 よ
の み 子 よ 世 の つ み を の ぞ き た も う

主 よ わ れ ら を あ わ れ み た ま え 世 の つ み を の ぞ き

た も う 主 よ わ れ ら の ね が い を き き い れ た ま え

ち ち の み ぎ に 座 し た も う 主 よ わ れ ら を あ わ れ み た ま え

主 の み せ い な り 主 の み 王 - な り

主 の み い と た か し イ エ ズ ス キ リ ス ト よ

せ い れ い と と も に ち ち な る か み - の

え い 光 の う ち に ア - メ ン

6) 集会祈願

司 教：主なる神よ、あなたのご自分の民を、司祭の奉仕を通して導いてくださいます。
きょう、司祭の努めを果たすために選ばれたこの助祭に、みこころを行う力をお与えください。キリストに仕える生活をとおして、あなたの栄光を表すことができますように。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同：アーメン。

2. みことばの祭儀

7) 第一朗読 エレミヤ1章4-9節

主の言葉がわたしに臨んだ。

「わたしはあなたを母の胎内に造る前からあなたを知っていた。母の胎から生まれる前にわたしはあなたを聖別し諸国民の預言者として立てた。」

わたしは言った。

「ああ、わが主なる神よ、わたしは語る言葉を知りません。わたしは若者にすぎませんから。」

しかし、主はわたしに言われた。

「若者にすぎないと言ってはならない。わたしがあなたを、だれのところへ遣わそうとも、行ってわたしが命じることをすべて語れ。彼らを恐れるな。わたしがあなたと共にいて必ず救い出す」

と主は言われた。

主は手を伸ばして、わたしの口に触れ主はわたしに言われた。

「見よ、わたしはあなたの口にわたしの言葉を授ける。」

8) 答唱詩編

心を尽くして神をたたえ

♩ = 69 くらい

答唱 こころをつくしてかみをたたえ すべてのめぐみをとめよ

94

- | | | |
|---------------------|------------------|--------|
| 1. 神に感謝して その名を たたえよ | 諸国の民に神のわざを | 告げ知らせよ |
| 2. 神をさがし求める者よ心から 喜べ | 神にその力を求め いつもその顔を | 慕い求めよ |
| 3. 神のしもべ 選ばれた 者よ | 神のさばきは世界に | 及ぶ |

- | | | | |
|------------------|-------|---------------|------|
| 1. 賛美の歌を神に | 歌い | そのすべての不思議なわざを | 語れ |
| 2. 神が行われた不思議なわざを | 思い起こせ | 救いのしるしとさばきの | ことばを |
| 3. 神は契約を とこしえに | 守られる | イスラエルのための永遠の | 契やく |

9) 第二朗読 エフェソ 4章 1-7、11-13 節

そこで、主に結ばれて囚人となっているわたしはあなたがたに勧めます。神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます。しかし、わたしたち一人一人に、キリストの賜物のはかりに従って、恵みが与えられています。そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教者、ある人を牧者、教師とされたのです。

こうして、聖なる者たちは奉仕の業に適した者とされ、キリストの体を造り上げてゆき、ついには、わたしたちは皆、神の子に対する信仰と知識において一つのものとなり、成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです。

10) アレルヤ唱

アレルヤ アレルヤ 全世界に行き すべての人を わたしの弟子に しなさい

わたしは世の終わりまで
いつも あなたがたとともにいる

アレルヤ アレルヤ

11) 福音朗読 マタイ 9 章 35 節—10 章 1 節、6—8 節

〔そのとき〕 イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」イエスは十二人の弟子を呼び寄せ、汚れた霊に対する権能をお授けになった。汚れた霊を追い出し、あらゆる病気や患いをいやすためであった。そして弟子たちに言われた。むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところへ行きなさい。行って、『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。病人をいやし、死者を生き返らせ、重い皮膚病を患っている人を清くし、悪霊を追い払いなさい。ただで受けたのだから、ただで与えなさい。

3. 叙階の儀

12) 司祭受階者の呼び出し

司 祭：司祭に叙階される方は、前に出てください。

受階者：はい。

司 祭：司教様、母なる教会はこの兄弟を司祭に叙階してくださるように願っています。

司 教：この兄弟は司祭にふさわしい人ですか。

司 祭：これまでこの兄弟をはぐくみ、生活をともにしてきた共同体の皆さんと司祭養成にかかわってきた方々にご意見をうかがった上で、この兄弟が司祭にふさわしい者であることを証言いたします。

司 教：それでは、主なる神と私たちの救い主イエス・キリストの助けによって、この兄弟を司祭団に加えることにします。

司 祭：神に感謝

一 同：神に感謝

13) 説教

14) 受階者の約束

司 教：パティオノ・ウィリアム・セルジュさん、司祭団に加わる前に、これからあなたに与えられる司祭の務めを受け入れる決意を、ここに列席されている方がたの前で表明してください。あなたは、聖霊の導きの下に主の群れを牧するにあたり、司教団の良い協力者となって、司祭団の一員として与えられた司祭の務めをたえず果たしますか。

受階者：はい、果たします。

司 教：あなたは、福音を述べ伝え、カトリックの信仰を表すことによって、神のことに奉仕する務めを誠実に果たしますか。

受階者：はい、果たします。

司 教：あなたは、神を賛美し信じる民を神に導くために、キリストの秘義、とくに感謝の祭儀とゆるしの秘跡を、教会の伝統に従って敬虔に正しく執り行いますか。

受階者：はい、行います。

司 教：あなたは、たえず祈るようにとの主のご命令に従い、自分に委ねられた民のために、わたしたちとともに神のあわれみを祈りますか。

受階者：はい、祈ります。

司 教：あなたは、教会共同体の助けのもとに、貧しい人、苦しむ人、助けを必要とするすべての人に、主の名において、神のいつくしみを示しますか。

受階者：はい、示します。

司 教：あなたは教区司教とあなたの上長とのきずなの中で、尊敬の心をもって彼らに従うことを約束しますか。

受階者：はい、約束いたします。

司 教：あなたは、わたしたちのためにご自分を清い捧げものとして御父にささげた大祭司キリストに日ごとに固く結ばれ、キリストとともに自分自身を、人々の救いのために神にささげますか。

受階者：はい、神の助けによってささげます。

司 教：あなたのうちに、よいわざを始めてくださった神ご自身が、それを完成してくださいますように。

15) 連 願

司 教：皆さん、全能の父である神が、司祭の務めを果たすためにお選びになったこのしもべに、天からのたまものを豊かに与えてくださるように祈りましょう。

(一同起立)

先唱 会衆
主よ あわれみたまえ 主よ あわれみたまえ

先唱 会衆
キリスト あわれみたまえ キリスト あわれみたまえ

先唱 会衆
主よ あわれみたまえ 主よ あわれみたまえ

先唱 会衆
神の母聖マリ ア われらのためにいのりたまえ

聖ミカエル
 聖なる神の使い
 洗礼者聖ヨハネ
 聖ヨセフ
 聖ペトロと聖パウロ
 聖アンデレ
 聖ヨハネ
 マグダラの聖マリア
 聖ステファノ
 アンチオケの聖イグナチオ
 聖ラウレンチオ
 聖ヴィンセンチオ
 聖ペルベトゥアとフェリチタス
 聖アグネス
 聖グレゴリオ
 聖アウグスチノ
 聖アタナシオ
 聖バジリオ
 聖エフレム
 聖マルチノ

われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。

聖ベネディクト
 聖フランシスコとドミニコ
 聖フランシスコ・ザビエル
 聖なる日本のじゅんぎょう者
 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ
 シエナの聖カタリナ
 イエスの聖テレジア
 聖セルジュ
 聖ヴィアトール
 神のすべての聖人とせい女

われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。
 われらのために祈りたまえ。



すべてのつみより
 主の受肉によりて
 主の死と復活によりて
 聖霊の注ぎによりて

主よ、われらをすくいたまえ。
 主よ、われらをすくいたまえ。
 主よ、われらをすくいたまえ。
 主よ、われらをすくいたまえ。



司 教：神である主よ、わたしたちの祈りを聞き入れ、あなたのこのしもべの上に、聖
 霊の祝福を注ぎ、司祭となる恵みを豊かに与えてください。あなたのみ前で
 聖別されるためにささげるこのしもべに、いつまでも豊かなたまものをお与え
 ください。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同：アーメン。
 (着席)

16) 司祭叙階（按手と聖別の祈り）

司 教：聖なる父、全能永遠の神よ、今こそ力を現してください。あなたは人間を尊いものとして造り、すべての恵みを分け与えてくださる方。万物はあなたによってはぐくまれ、強められます。あなたは祭司の民を形作るために、この民の中に、聖霊の力によってさまざまな務めを担う奉仕者をお立てになりました。すでに旧約の時代から、神の働きによって奉仕の務めは豊かになっていきました。あなたは民を導き、聖なる者とするために、モーセとアロンを民の上に立て、彼らを助け、ともに働く人々を民の中からお選びになりました。こうして荒れ野にあって、知恵に富む七十人の人々にモーセが受けた霊を分け与えてくださいました。彼らの助けによって、モーセはあなたの民をより良く導くことが出来ました。またあなたは、アロンの子孫にも、その父に与えられた満ちあふれる恵みを授け、いけにえをささげる祭司を数多く与えてくださいました。

聖なる父よ、時が満ちてあなたは御子を世にお与えになりました。この方こそ、あなたから遣わされた方、わたしたちが信じる大祭司イエス・キリスト。イエスは聖霊によって自らをあなたにおささげげになりました。そして使徒たちを真理によって聖なる者とし、ご自分の使命にあずかせてくださいました。神よ、あなたはさらに使徒と共に働く人々を選び、全世界に救いのわざを告げ、これを実現することをお望みになりました。主なる神よ、使徒から受け継いだ司教の務めを果たすには力の足りないわたしを顧み、かつてモーセとアロンになさったように、今わたしにもこの人を必要な助け手としてお与えください。

全能の父よ、あなたに仕えることを望むこの人を司祭団に加え、すべてを聖とする霊を新たに注いでください。司教に協力する務めを授かり、日々の生活の模範によってすべての人を正しい道に導くことが出来ますように。この人が司教団の良い協力者となり、その宣教の働きを通して福音の言葉が地の果てまで伝えられ、聖霊の恵みによって人々の心に実りを結びますように。わたしたち司教とともに心を込めて秘跡を行うことが出来ますように。こうしてあなたの民が洗礼を受けて新たな命を与えられ、主の食卓で養われ、罪がゆるされ、病の時には力づけられますように。

主なる神よ、司祭となったこの人が、わたしたち司教と心を合わせて、自分に委ねられた人々と全世界のためにあなたのあわれみを心から祈り求める者となりますように。こうしてすべての人がキリストのうちに集められ、一つの民となり神の国の完成にあずかることが出来ますように。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同：アーメン。

17) 祭服の授与

司祭職に固有な祭服でカズラ(司祭用上短衣)とストラ(司祭用帯)が、受階者の親族から奉納されます。カズラは、司祭が教会に集まる神の家族の座長であることを示しています。ストラは十字架の横木を意味するものといわれ、キリストに倣って十字架を担うことを表しています。「接手」と「叙階の祈り」によって叙階された新司祭は、今日初めてこの祭服に袖を通します。

神よ あなたの ことばは

CL
TS

♩ = 72くらい

答唱 かみ よあ なたの ことば は わ たしの あし のと
わ
答唱 かみ よあ なたの ことば は わ たしの あし のと
わ

も し び わ たし の みち の ひ か - - り
も し び わ
も し び わ たし の みち の ひ か - - り
も し び わ

- | | | | |
|-------------------|-----|-------------|-----|
| 1. しあわせな人 道から | それ | 神の教えに従って歩む | ひと |
| 2. あなたの定めを思い | ぐらし | あなたの道に目を | 注ぐ |
| 3. あなたのすすめから それない | ように | 心を尽くして あなたを | 求める |

- | | | | |
|---------------|------|-------------|-----|
| 1. そのさとしをとがなく | 守り | 神の道を歩む | ひと |
| 2. わたしは おきてを | 喜びとし | あなたのことばを | 忘れな |
| 3. わたしは 仰せを心に | いだく | あなたのさばきを示して | くたさ |

18) 聖香油の塗油

油は特別な力を備えるものとして古来より尊ばれてきました。叙階式で用いられる油は、天然のオリーブ油に香料を加え聖別されたもので、「聖香油」と呼ばれています。「聖香油」は、旧約聖書の時代からイスラエルの王の即位式において王に注がれてきました。新司祭はこれをキリストの王職にあずかるしるしとして両手に受けます。

司 教：御父は聖霊の力によって、主イエス・キリストに油を注がれました。信じる人々を聖なる者とし、感謝の祭儀をささげるために選ばれたあなたを、キリストが守ってくださいますように。

19) パンとぶどう酒の授与

感謝の祭儀を執り行うためのパンとぶどう酒が授与されます。

司 教：神にささげる聖なる民の供えものを受けなさい。あなたがこれから執り行うことをよくわきまえ、それにならい主の十字架の神秘にかなう生活を送りなさい。

20) 司教・司祭団の歓迎

司 教：司祭の皆さん、新しい司祭を兄弟として迎えてください。



4. 感謝の祭儀

21) 奉納の歌

神の いくしみを

♩ = 72 くらい

CL
TS

答唱 かみのい いくしみを と こしえにうたい 主 のまことを 代々につげよう

- 39
- | | | | |
|---------------------|-----|---------------|------|
| 1. 神は王, 栄光に | 満ち | 偉大な力を身に帯びて | おられる |
| 2. 潮の流れは声を | あげる | 潮の流れは どよめきの声を | あげる |
| 3. 神よ あなたのことは変わることに | なく | あなたの家は とこしえに | とうとい |

- | | | | |
|-----------------|-----|------------------|------|
| 1. 神は 世界を ゆるぎなく | 建て | とこしえに王座をすえ永遠に座して | おられる |
| 2. とどろく海 さかまく波に | まさり | すべてを越える神は | 力強い |
| (栄唱) 栄光は父と子と | 聖霊に | 初めのうに 今もいつも世々に | アーメン |

22) 奉納祈願

司 教：祈りましょう。

神よ、あなたは、司祭が祭壇とご自分の民に奉仕することを望まれました。このささげものをおして、司祭の奉仕がいつもあなたの喜びとなり、教会に豊かな実りをもたらすものとなりますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同：アーメン

23) 感謝の賛歌

♩ = 58-68

せ いなるかな せ いなるかな せ - い - なる かな

ば んぐんのか みな る主 - 主の - え - い - 光 は

てん 地に みつ - て んの いと - たか き

と ころに ほ ザ ソ ナ ほ む べ - きか - な

主 の 名 に - よ り - て き た る も の -

て んの いと - たか き と ころに ほ ザ ソ ナ

24) 奉献文

5. 交わりの儀

25) 主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに、他にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を、今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

26) 平和を願う祈り

27) 平和のあいさつ

28) 平和の賛歌

♩ = 76

かみのこひつじ 世のつみをのぞきたもう主よ

われらをあわれみたまえ

かみのこひつじ 世のつみをのぞきたもう主よ

われらにへいあんをあたえたまえ

The musical score consists of four systems of music. Each system has a vocal line on a treble clef staff and a piano accompaniment on a grand staff (treble and bass clefs). The tempo is marked as ♩ = 76. The lyrics are written below the vocal line. The first system has two lines of lyrics. The second system has one line. The third system has two lines. The fourth system has one line. The music is in a major key with a common time signature.

29) 聖体拝領

O salutáris hóstia

V.

30) 拝領の歌

H. TAPPERT
(Arr. by C.R.)

Andantino

1. O sa - lu - tá - ris hó - sti - a,
2. U - ni tri - nó - que Dó - mi - no

Ten.
p

1. Quae cae - li pan - dis ó - sti - um,
2. Sit sem - pi - tér - na gló - ri - a,

1. Bel - la pre - munt ho - stí - li - a,
2. Qui vi - tam si - ne tér - mi - no

1. Da ro - bur, fer - au - xí - li - um.
2. No - bis do - net in pá - tri - a. A - men.

Ave, verum Corpus

Andante sostenuto

W. A. Mozart

P *PP cresc.*

A - ve, a - ve, ve - rum cor - pus, na - tum

P *PP cresc.*

A - ve, a - ve, ve - rum cor - pus, na - tum

P *PP cresc.*

A - ve, a - ve, ve - rum cor - pus, na - tum

P *PP cresc.*

A - ve, a - ve, ve - rum cor - pus, na - tum

dim. *pp* *mf* *p* *mf* *f*

de Mari - a vir - gi - ne, ve - re pas - sum, im - mo - la - tum in cru

dim. *pp* *mf* *p* *mf* *mf*

de Mari - a vir - gi - ne, ve - re pas - sum, im - mo - la - tum in

dim. *pp* *mf* *p* *mf* *mf*

de Mari - a vir - gi - ne, ve - re pas - sum, im - mo - la - tum in

dim. *pp* *mf* *p* *mf* *mf*

de Mari - a vir - gi - ne, ve - re pas - sum, im - mo - la - tum in

P *P*

- ce pro ho - mi - ne; cu - jus la - tus

f *p* *P*

cru - ce pro ho - mi - ne; cu - jus la - tus

f *p* *P*

cru - ce pro ho - mi - ne; cu - jus la - tus

f *p* *P*

cru - ce pro ho - mi - ne; cu - jus la - tus

per - fo - ra - tum un - da flu - xit et san - gui - ne, e - sto no - bis -

per - fo - ra - tum un - da flu - xit et san - gui - ne, e - sto no - bis -

per - fo - ra - tum un - da flu xit et san - gui - ne, e - sto

per - fo - ra - tum un - da flu xit et san - gui - ne, e - sto

prae - gu - sta - tum in mor - tis ex - a - mi - ne, in mor

prae - gu - sta - tum in mor - tis ex - a - mi - ne, in

no - bis prae - gu - sta - tum in mor - tis ex - a - mi - ne, in

no - bis prae - gu - sta - tum in mor - tis ex - a mi ne, in

mor - tis ex - a - mi - ne.

mor - tis ex - a - mi - ne.

mor - tis ex - a - mi - ne.

mor - tis ex - a - mi - ne.

O Salutaris

Werner

Andante

1 O sa - lu - ta - ris ho - sti - a, Quæ cœ - li pan - dis
2 U - ni tri - no - que Do - mi - no Sit sem - pi - ter - na

o - sti - um, Bel - la pre - munt ho - sti - li - a,
glo - ri - a, Qui vi - tam si - ne ter - mi - no,

Da ro - bur, fer au - xi - li - um. A - men.
No - bis do - net in pa - tri - a.

31) 拝領祈願

司教：祈りましょう。

いのちの与え主である神よ、今、恵みの糧を分かち合い、強められたわたしたちが、あなたの愛のうちに結ばれ、心から仕える者となりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同：アーメン

6. 閉祭の儀

32) 司教の挨拶

33) 聖ヴィアトール修道会日本管区長の挨拶

34) 新司祭の挨拶

35) 花束贈呈

35) 新司祭による祝福

36) 派遣の祝福

司 祭：皆さん、祝福をいただくために、頭を下げましょう。

司 教：教会をたて、導かれる神が、その恵みによっていつもあなたを守り、
司祭の務めを忠実に果たさせてくださいますように。

一 同：アーメン

司 教：神が、あなたを、ご自分の愛と真理のあかし人とし、ゆるしを与える
神の忠実な役務者としてくださいますように。

一 同：アーメン

司 教：神があなたを、いのちのパンといのちのことばを分け与えるまことの
牧者とし、信じる人々がただ一つのキリストのからだとして成長して
いきますように。

一 同：アーメン

司 教：全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

一 同：アーメン

37) 退堂の歌

410 復活の勝利と賛美 よろこびうたえ アレルヤ

MK

1~2 よろこびうたえアレルヤアレルヤ

1. み名のさかえをほめうたえ
2. みことばのごとくよみがえりぬ

さんびのうたをさんびのうたを
ぜんちよこぞりてしょうりのうたを

1~2. ささげよわが主にアレルヤアレルヤ



Sinite parvulos venire ad me

子どもたちを私のもとに来させなさい